

オリエンテーション Orientation

平成29年度 SUMS EDGE-NEXTプログラムの紹介 Introduction of the SUMS EDGE-NEXT program in 2017

総括責任者: Leader:	小笠原一誠理事(研究・企画・評価等担当)・副学長 Kazumasa Ogasawara (Director and Vice President)
実施担当者: Staff:	松浦 昌宏 (研究戦略推進室 産学連携推進部門 特任教授) Masahiro Matsuura (Special contract prof., Research Strategy Promotion Office)
実施担当者: Staff:	松浦 孝範 (研究戦略推進室 産学連携推進部門 URA) Takanori Matsuura (URA, Research Strategy Promotion Office)



1

目次 Contents

1. 次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXT)の紹介
Exploration and Development of Global Entrepreneurship for NEXT generation
2. 早稲田大学EDGE-NEXTコンソーシアムの紹介
Waseda Univ. Leading the EDGE-NEXT Consortium
3. 滋賀医科大学のEDGE-NEXTの紹介
SUMS EDGE-NEXT
4. 滋賀医科大学のiKODEプログラムの紹介
iKODE program at SUMS
5. 大学との連携事業の紹介
Program in collaboration with other Univ.
6. 参考Websiteと連絡先
Reference Websites and contact

2

次世代アントレプレナー育成事業 (EDGE-NEXT)

平成29年度予算額 : 330百万円(新規)

<背景・必要性>

- 日本の起業率は他国に比べ非常に低く、これは起業による失敗の恐れよりも、知識・経験の不足や身近なロールモデルの不足が原因であることが明らかとなっている。
- 日本再興戦略2016やベンチャーチャレンジ2020等において、起業家人材の育成を含めベンチャー創出力を強化する方向性が打ち出されている。

日本再興戦略2016(2016年6月2日 閣議決定)【抜粋】

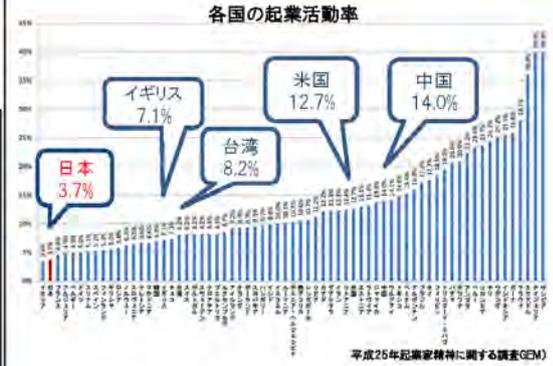
- ベンチャー企業の増加に向けて、起業に挑戦する人材の増加を目指し、人材育成の取り組みを促進する。

ベンチャーチャレンジ2020(2016年4月19日 日本経済再生本部決定)【抜粋】

- 開業率・廃業率は、**社会の起業に対する意識の改革も必要**とし、長期的な目標となるため、今後10年間を見据えた補助指標として、「**起業活動指数(「起業家精神に関する調査」において、「起業家・起業予定者である」との回答を得た割合)を今後10年間で倍増させる。**

産業界からのベンチャー企業への期待~「新たな基幹産業の育成」に資するベンチャー企業の創出・育成に向けて~(2015年12月15日 日本経済団体連合会)【抜粋】

- 文部科学省の「**グローバルアントレプレナー育成促進事業(EDGEプログラム)**」等、起業家人材を育成し、大企業や大学のマインド変革を促す事業が進められてきた。これらは**産業界としても評価しており、継続・拡大が求められる。**



<事業の目的>

- EDGEプログラムの成果や知見を活用しつつ、人材育成プログラムへの受講生の拡大やロールモデル創出の加速に向けたプログラムの発展に取り組むことで、起業活動率の向上、アントレプレナーシップの醸成を目指し、我が国のベンチャー創出力を強化する。

<事業の概要>

- 取組内容 学生等によるアイデア創出にとどまらず、実際に起業まで行える実践プログラムを構築する、アントレプレナー輩出に意欲的な機関の取組を支援。
また、アントレプレナー育成に必須の新たなネットワーク構築等、国全体のアントレプレナーシップ醸成に係る取組を実施。
- 支援対象 優れた人材育成プログラムを実施すると見込まれる大学等を5機関程度採択し、各拠点のアントレプレナー育成に係る高度なプログラム開発等、エコシステム構築に資する費用を支援。ただし複数の民間企業や海外機関、他大学との連携を条件。
- 支援規模 5コンソーシアム程度(30~50百万円程度/コンソーシアム)
- 支援期間 5年間

事業イメージ

①採択コンソーシアム

- A又はBを満たす複数の機関によるコンソーシアム
(A)EDGE採択機関のうち、真に優れた取組を実施している機関
(B)本事業に資する取組が可能と見込まれる機関

【実施プログラムの例】

- ・学部学生や企業の若手人材を含めた多くの受講生に対し、デザイン思考等のアイデア創出やPBL型の手法を活用し、創造性涵養を図る
- ・発展途上国や民間企業の実課題を用い、新事業の創出のためのより実践に近い取組を実施

②近隣大学等との連携

- ・コア機関は複数の機関と連携して人材育成を実施

③民間企業・VC・海外機関等との連携

- ・関係者間の人・組織・資金等のネットワークの構築を実施



3

EDGE-NEXT

(Exploration and Development of Global Entrepreneurship for NEXT generation)

FY 2017 budget
¥ 330M

Background

- It is important to accelerate startup launch, especially in high-tech areas, by young professionals with a background in science and technology with acquiring an entrepreneurial spirit, broad perspective and problem-finding/solving skills.
- There have been various educational programs for acquiring academic knowledge or research ability, but fewer programs for fostering entrepreneurship activities.
- The needs to strengthen entrepreneurship education and establish networks among universities, venture capital firms, and large companies for supporting start-ups are rapidly increasing.

Overview of EDGE-NEXT

- The EDGE-NEXT program is designed to
 - enhance entrepreneurship activities
 - create promising business models based on advanced technology at academic institutions,
 - reeducate industry's human resources to be capable of initiating new projects within the existing corporations,
 - establish nation-wide entrepreneurial network.
- This program is expected to provide a human capital platform for startup ecosystem.
- Intensive collaboration with private companies and overseas institutes is required.
- Implementing organization:
5 consortiums (Leading Universities : Tohoku University, University of Tokyo, Nagoya University, Kyushu University, Waseda University)
- Period : 5 years (FY2017-2021)

Image of the consortium



平成29年度次世代アントレプレナー育成事業のコンソーシアム一覧

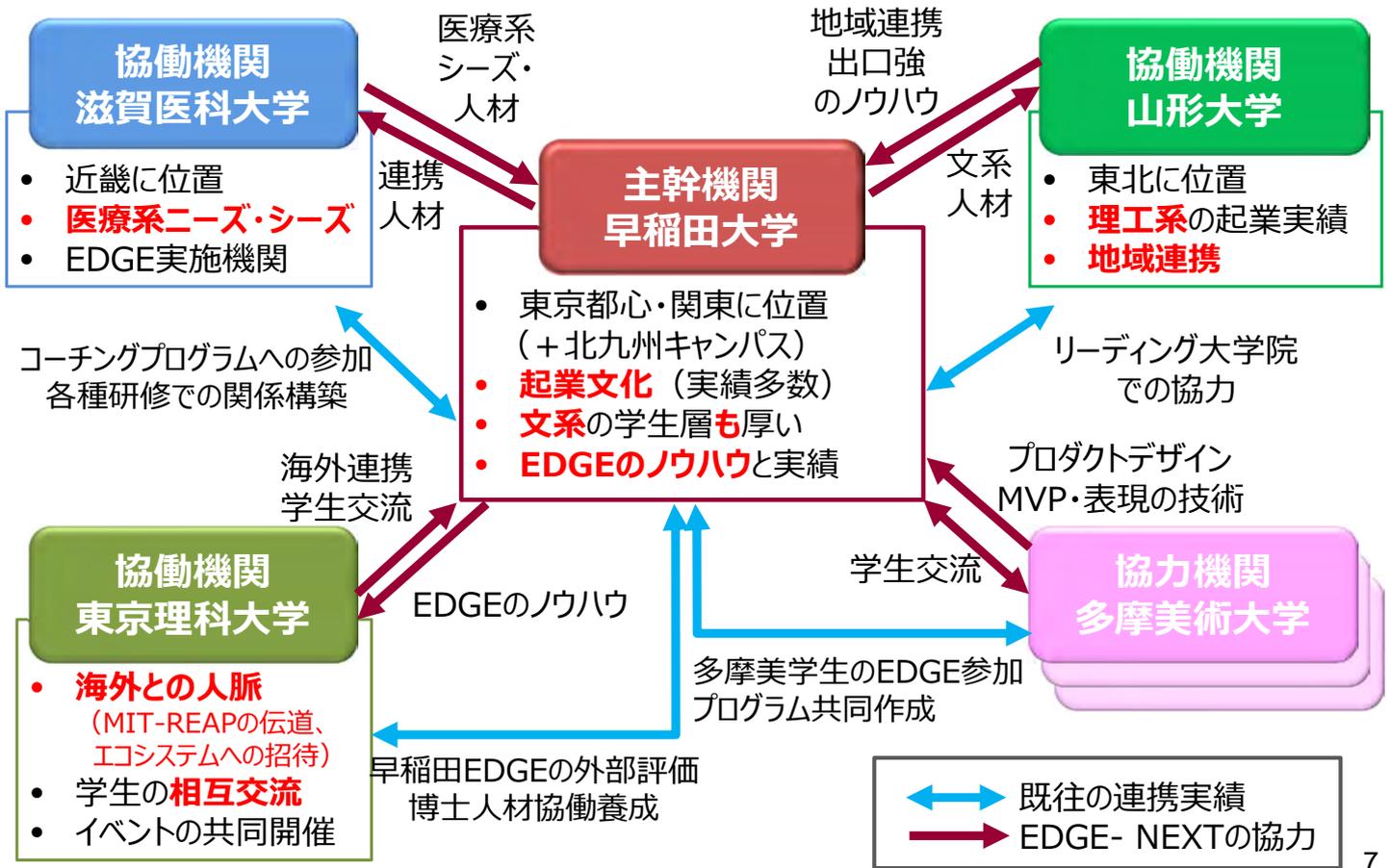
プログラム名称 (コンソーシアム名)	実施機関		総括責任者	プログラムの概要
	主幹機関	協働機関		
"EARTH on EDGE" ～東北・北海道からの起業復興～	東北大学	北海道大学、小樽商科大学、京都大学、神戸大学、宮城大学	矢島 敬雅 (東北大学)	目指すべきアントレプレナー像は、機関共通の「実学精神」をベースに各機関の重視する教育プログラムをコンソーシアム全体に相乗的に協働して育成を図る。例えば、東北大学は「バイオデザイン」、北海道大学は「Real Price」等、京都大学は「オーソニクス」等の海外先進的なアントレプレナーシッププログラムを実施する中で、機関内及びコンソーシアムに先進的アントレプレナーシップの醸成と展開を図っていく。加えて当該先進的取組みを活かし、東北大学、北海道大学、京都大学及び医療における先進地域である神戸大学が有する世界最先端の基礎・応用研究・成果を相乗的に動かし、地域・日本・世界の課題解決への社会実装を加速する事業化支援プログラムを展開し、大学発ベンチャー創出を推進する。また、小樽商科大学と宮城大学は、地域に根差したニーズの共有・分析を行い、東北・北海道の社会課題解決に取り組む。 本コンソーシアムは、東北・北海道の地域性を活かし、このようなアントレプレナー人材の育成及び社会実装に本プログラムを推進する。
産学グローバル連携によるEDGE NEXTプログラム (Global Tech EDGE NEXT)	東京大学	筑波大学、お茶の水女子大学、静岡大学	各務 茂夫 (東京大学)	本プログラム主幹機関は、EDGEプログラムを牽引し、多くの大学発ベンチャーを生み出してきた東京大学である。協働機関は、世界有数の技術シーズを学際的に融合する筑波大学、世界で戦う製造業と共同研究を行ってきた静岡大学、グローバル女性リーダーを育成するお茶の水女子大学である。この4校でコンソーシアムを形成し、各校で蓄積してきたノウハウを共有し、グローバルな起業家人材を育成する。更に、国立研究機関、企業からの参加者も加え、技術を起点として多様なチームで社会的な課題に挑む。 本プログラムは、基礎編・発展編・実践編からなる。基礎編では学部生を含め起業に興味を持つ人材を増やし、発展編ではメンタリングを中心としたチーム運営等で基本スキルの向上を図る。実践編では、選抜チームに対して市場検証を通じて事業計画を投資レベルまで引き上げる。基礎・発展編は、各大学の特色を活かして実施し、実践編はこれらの成果を融合し協働実施する。
Tokai-EDGE (Tongali)プログラム	名古屋大学	岐阜大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、三重大学 (*1)その他協力大学あり	財清 慎明 (名古屋大学)	東海地区の産学が連携して、自らのアイデアや技術で、世の中に大変革をもたらそうとチャレンジする人材。専門分野における基礎能力と鋭利なマインドセットを基盤として併せ持ち、以下のようなイノベーションをリードするアクションを起こす人材を育成することを目的とする。 現在まで東海地区産学連携大学コンソーシアムが母体となり実施してきたTongaliスクールを拡大する形で、体系的な教育システムを構築する。コースワークとしては、「モチベーション/マインドセット、スキルセット」/起業実践/産学連携/チームビルド/グローバル展開/教育と社会実装の両者が実行できる場を提供し、多くの参加者を募り、起業等やる気のある学生には、しっかり育成/支援ができるプログラムを提供する。 これらの教育プログラムを核とし、サステナブルなプラットフォームとなるベンチャーエコシステムを、東海地区に構築していく。
多様性と創造的協働に基づくアントレプレナー育成プログラム (IDEA: Innovation x Diversity x Entrepreneurship Education Alliance)	九州大学	奈良先端科学技術大学院大学、大阪府立大学、立命館大学 (*2)その他協力大学あり	谷口 博文 (九州大学)	本プログラムは、多様性をモノコト・サービスへと精緻化して、価値創造と社会変革を導く「次世代グローバルアントレプレナー」育成を目指す。当該目的に向け、個性あるアントレプレナーシップ教育/イノベーター育成プログラムを実施する九州大学、立命館大学、奈良先端科学技術大学院大学、大阪府立大学を中心に、国内外機関の多様な人材育成思想を有機的に融合させ、共創的混ざり合いを同時多発的に創発する「アジア発の次世代グローバルアントレプレナー育成プラットフォーム」を構築する。各大学のEDGE事業を発展・高度化した先進的プログラムを実施するとともに、九州と関西、さらに海外の学生等が浑然一体となって混ざり、学び合う多層的協働プログラム「Interstate Collaboration Program」及び「Regional Core Program」を展開する。各プログラムはアジア固有のバイタリティと多様性をイノベーションに結実させる創造的協働の可能性を追求し、新たな価値創造と社会変革を導く実践能力構築を基盤に編成する。
EDGE-NEXT 人材育成のための共創エコシステムの形成	早稲田大学	山形大学、滋賀医科大学、東京理科大学 (*3)その他協力大学あり	橋本 周司 (早稲田大学)	EDGEプログラムでの成果を基盤に、コンソーシアム参加大学の強みや国内外の産学官の英知を結集して、「グローバルリーダー/バイ医学分野」/地域貢献」を体現するアントレプレナーの育成を目指す。接続する人材のすそ野拡大に向け「Future-EDGE人材」、実際の起業・新規事業創出に向け「EDGE-NEXT人材」を文理融合で養成する。本事業の特長は、①欧米アジア及び国内へのダイキミックなプログラム展開、②分野特化型と美大との連携によるラピッドプロトタイプ手法を導入したリソーススタートアップ開発、コーチング導入などによる教育プログラム高度化、③学部生などへの受講生裾野拡大と、VC等から大資金調達を実現するまでの創業支援による出口強化などである。これらの取組を通じて、各機関が世界を巻きつけるアントレプレナー育成拠点(エコシステムハブ)となり、我が国のベンチャー・エコシステム構築に寄与し、「失敗を恐れず、前進する起業文化」の醸成に貢献する。

(*1): 大阪大学
(*2): 広島大学、福岡大学、茨城大学、立命館アジア太平洋大学
(*3): 金沢大学、多摩美術大学

The List of 5 Consortiums for EDGE-NEXT

Leading Universities	Partner Universities	Program Subject
Tohoku University	<ul style="list-style-type: none"> Hokkaido University Otaru University of Commerce Kyoto University Kobe University Miyagi University 	Entrepreneurial Action Renaissance in Tohoku and Hokkaido on Enhancing Development of Global Entrepreneur program "EARTH on EDGE"
The University of Tokyo	<ul style="list-style-type: none"> University of Tsukuba Ochanomizu University Shizuoka University 	Global Tech EDGE NEXT based on collaboration between government, industry and university "Global Tech EDGE NEXT"
Nagoya University	<ul style="list-style-type: none"> Gifu University Nagoya Institute of Technology Toyohashi University of Technology Mie University (*1) Cooperators: Osaka University	Tokai network global leading innovators "Tokai-EDGE (Tongali) Program"
Kyushu University	<ul style="list-style-type: none"> Nara Institute of Science and Technology Osaka Prefecture University Ritsumeikan University (*2) Cooperators: Hiroshima University Fukuoka University Sojo University Ritsumeikan Asia Pacific University	Innovation x Diversity x Entrepreneurship Education Alliance "IDEA"
Waseda University	<ul style="list-style-type: none"> Yamagata University Shiga University of Medical Science Tokyo University of Science (*3) Cooperators: University of Aizu Tama Art University	EDGE NEXT: Value Co-creation Eco-system for Developing Global Entrepreneurs

EDGE-NEXT実施コンソーシアムの体制と特徴



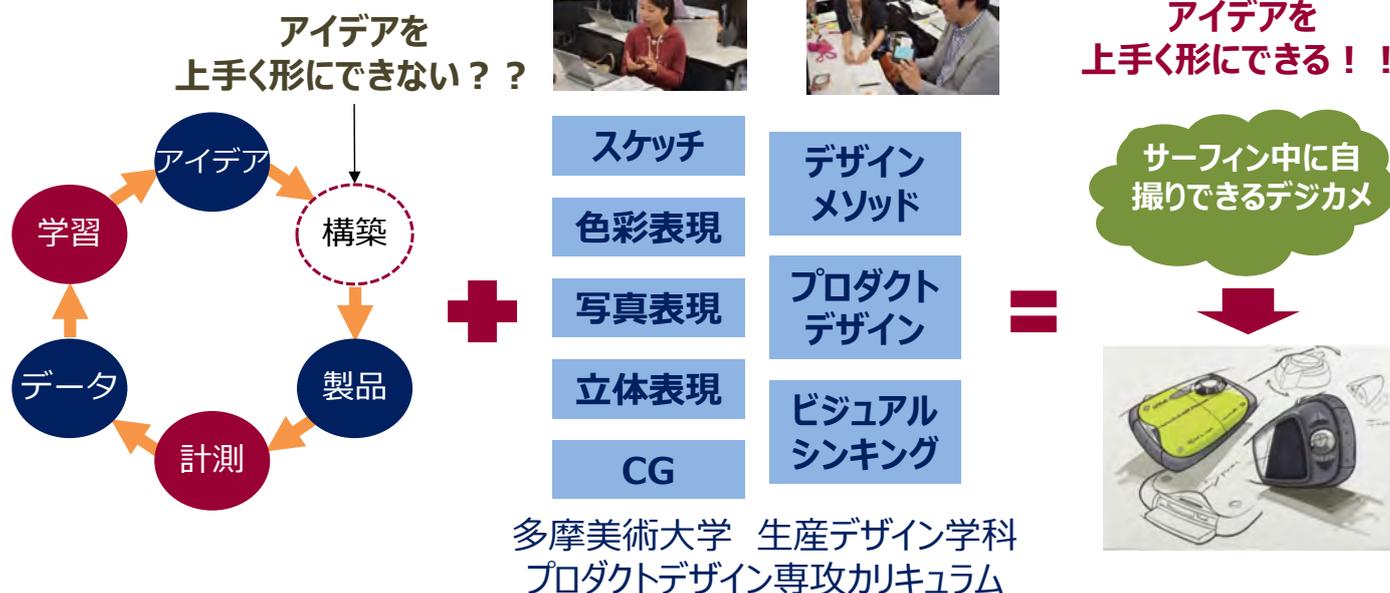
国内外との連携によるダイナミックなプログラム展開



理工系・文系・医療系・芸術系など多様な専門分野を持つ大学の連携
 自治体の参画による現場の確保 地域拠点による地方創成
 海外連携による先進的な知見の輸入と開発プログラムの展開 国際競争力の強化

特徴的な新規プログラム紹介（リーンスタートアップの拡充）

◆ アイデアを形にするインダストリアルデザイントップクラス の多摩美術大学との連携



◆ 医療系シーズに特化したリーンスタートアップ手法開発（滋賀医科大連携）

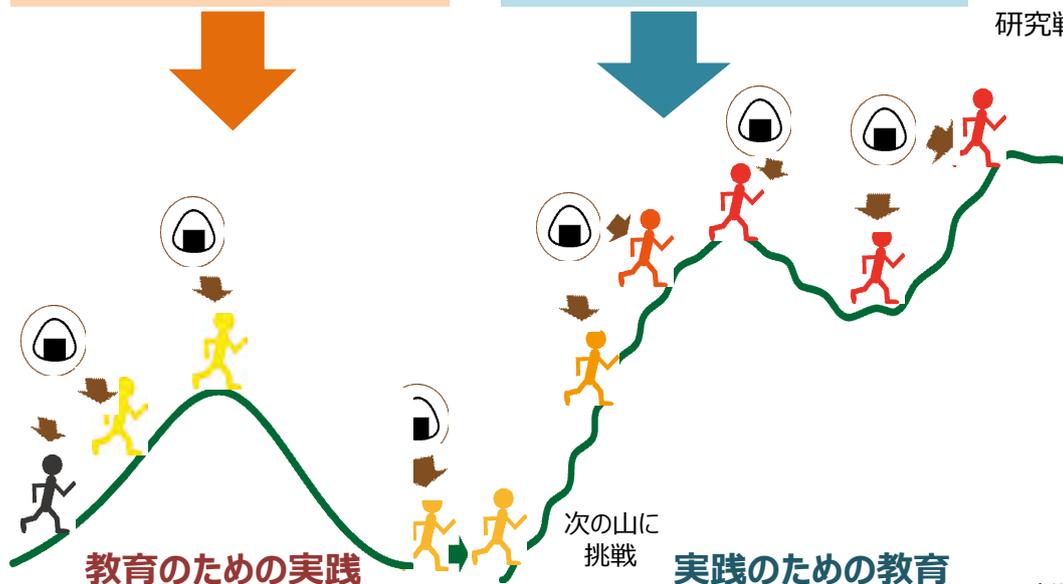
9

特徴的な新規プログラムの紹介（コーチング）

- ・オーリン工科大学をはじめ、先進的な起業家教育を提供する海外機関ではコーチングによる支援導入済
- ・EDGEでは、**早稲田大学が主導して**全機関を対象に導入
- ・EDGE-NEXTでは、高度化した2段階のプログラムを全面展開

コーチング I（ベーシック）：
内発的動機醸成、ビジョンメイキング

コーチング II（アドバンスト）：
主体性、行動力、リーダーシップの醸成



コーチング担当教員
研究戦略センター 島岡未来子准教授



研修実施風景
E2月 於：早稲田大学共創館
等はEDGE期間中7回開催。受講生・教
10名が受講）

コーチングの効果
研究者を対象に早稲田大学が2016年
実施した調査においては、コーチング
連携に向けた効果を実証。
コーチングを継続的に受けている方
産学連携を見据え自身の研究をやり
自信が継続した。

（詳細は補足資料参照）

10

1. SUMS EDGE-NEXT in 2017

- ① リーン・スタートアップ研修 **Lean Startup Training**
早稲田大学で受講【Essential course: Nov. 18 (Sat.) & Dec. 16 (Sat.)】 @ Waseda Univ.
- ② コーチング研修 **Coaching Training**
滋賀医科大学で受講 **Nov. 16 (Thu)** @ SUMS
- ③ EDGE-NEXTビジネスワークショップ(5回) **EDGE-NEXT Business Workshop (5 times)** @ SUMS
研究シーズやアイデアからビジネスモデルの構築 **Business model development from research outcome and/or idea** ⇒ 滋賀テックグランプリヘエントリー
- ④ 学内インターンシップ **Internship at SUMS**
産学連携活動の実践(コーディネート活動、プロジェクトマネジメントなど) **Practice of coordination and project management in Academia-Industry collaboration**
(一定条件を満たせば、アルバイト料支給) (Part-time job salary will be paid under certain conditions)

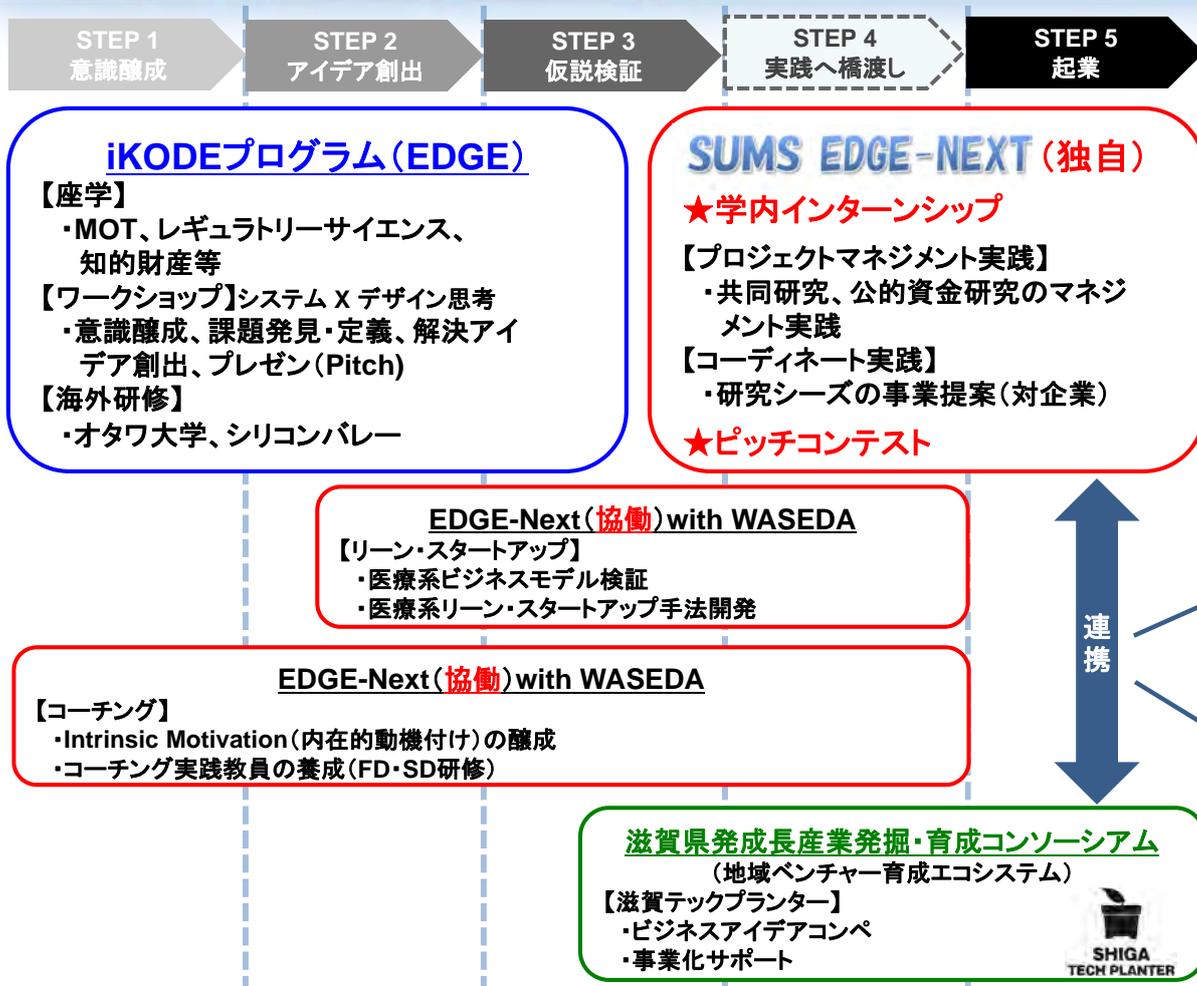
2. iKODE in 2017 @ SUMS

- 座学(講演等) **Lectures**
知的財産、医療イノベーション、医療系のアントレプレナー **IP, Medical Innovation, Medical Entrepreneur**
- 医療機器開発セミナー(1回/2ヵ月) **Medical Device Development Seminar (Once / 2 months)**
- iKODEイノベーションワークショップ(5回程度) **iKODE Innovation Workshop (5 times)**

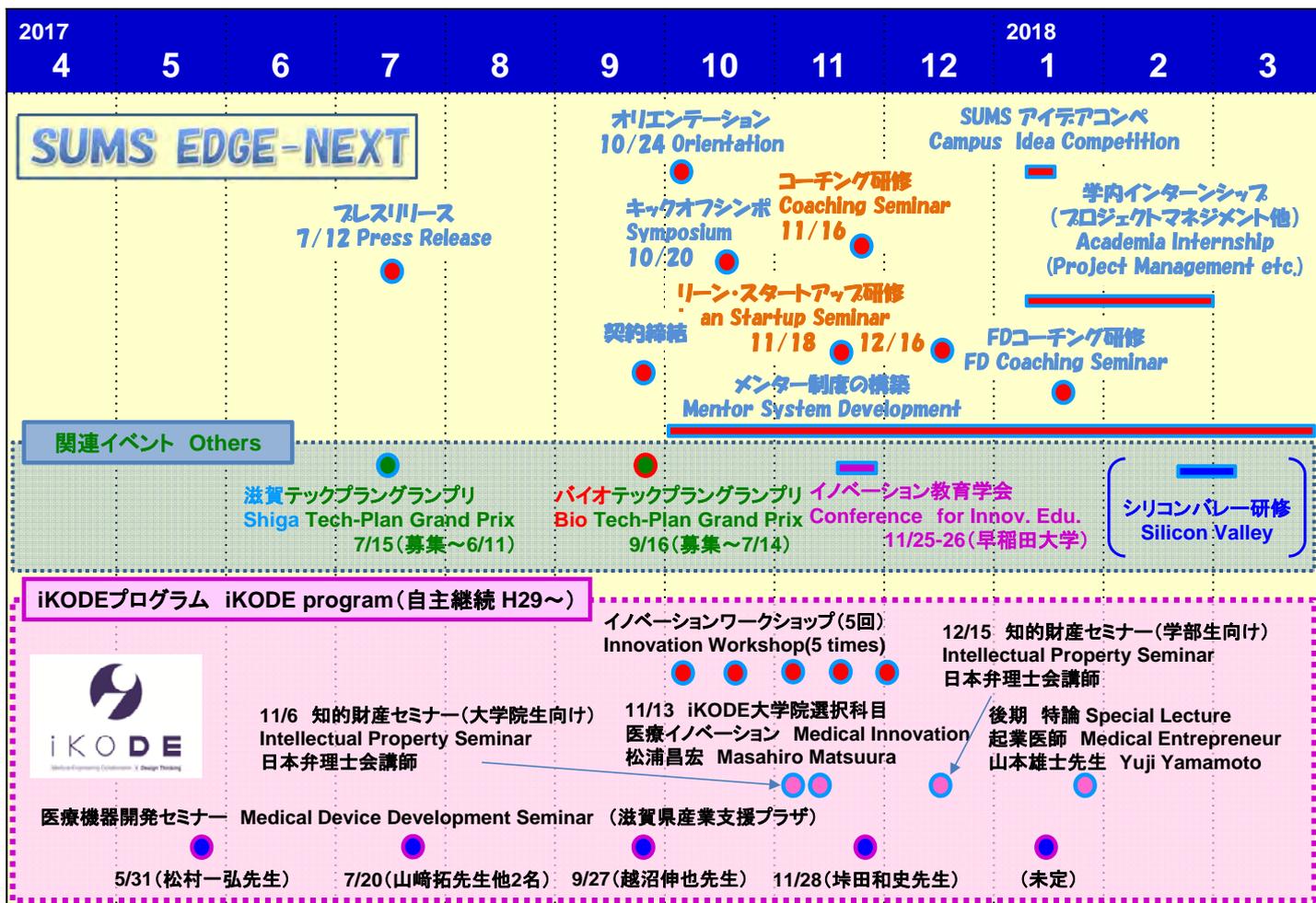
3. 他大学との連携プログラム **Program in collaboration with other Univ.**

- HiDEPプログラム(京都大学) **Healthcare Innovation Design Entrepreneurship Program (Kyoto Univ.)**
- 「医療機器開発エキスパート」育成研修エントリーコース(神戸大学)
Entry course of carrier training for "Expert for Medical Device Development"

11



12



13

SUMS EDGE-NEXT ①

1. リーン・スタートアップ研修 Lean Startup Training

早稲田大学で開催する研修に参加する。Students will attend the training at Waseda.

【Essential Course: Nov. 18(Sat) and Dec. 16(Sat)】

参加予定人数:6名 **Participants : 6 students**
 3名1チーム、2チーム **2 team (3 students/team)**

★1回目(前泊必要) **1st day (spending one night ahead)**
Nov. 18(Sat)
 1限~5限(9:00-18:00)

★2回目(前泊必要) **2nd day (spending one night ahead)**
Dec. 16(Sat)
 2限~5限(10:40-18:00)

旅費、宿泊費は支給 **Travel and hotel fee will be reimbursed.**

- 1: 第1回
・オリエンテーション
- 2: 第2回(第1回と同じ日に連続して実施)
・ビジネスモデルとその設計手法に関する講義
(ビジネスモデルキャンバスを学ぶ)
- 3: 第3回(第1回と同じ日に連続して実施)
・ビジネスモデルとその設計手法に関する講義
(ビジネスモデルキャンバスを用いたビジネスモデル設計を学ぶ)
- 4: 第4回(第1回と同じ日に連続して実施)
・ビジネスモデルの仮説検証手法に関する講義
(リーンスタートアップ、顧客開発モデルを学ぶ)
- 5: 第5回(第1回と同じ日に連続して実施)
・ビジネスモデルの仮説構築演習
- 6: 第6回(実習)
・顧客インタビューの実施(最低3-4件)
・顧客インタビュー結果に基づくビジネスモデルの改訂
- 7: 第7回(実習)
・顧客インタビューの実施(最低3-4件)
・顧客インタビュー結果に基づくビジネスモデルの改訂
- 8: 第8回(実習)
・顧客インタビューの実施(最低3-4件)
・顧客インタビュー結果に基づくビジネスモデルの改訂
- 9: 第9回(実習)
・顧客インタビューの実施(最低3-4件)
・顧客インタビュー結果に基づくビジネスモデルの改訂
- 10: 第10回(実習)
・顧客インタビューの実施(最低3-4件)
・顧客インタビュー結果に基づくビジネスモデルの改訂
- 11: 第11回(実習)
・顧客インタビューの実施(最低3-4件)
・顧客インタビュー結果に基づくビジネスモデルの改訂
- 12: 第12回(第12回と同じ日に連続して実施)
・ビジネスモデルの検証結果の発表とディスカッション
- 13: 第13回(第12回と同じ日に連続して実施)
・ビジネスモデルの検証結果の発表とディスカッション
- 14: 第14回(第12回と同じ日に連続して実施)
・ビジネスモデルの検証結果の発表とディスカッション
- 15: 第15回(第12回と同じ日に連続して実施)
・総括

14

2. コーチング研修 Coaching Training

本学で早稲田大学が開催する研修 **Lectures of Waseda will come to SUMS.**
 人数:20名程度(最大で30名) **Participants : 20 students (Max : 30)**
 日時: **11月16日(木)16:00-19:00** **Date & Time: Nov. 16 (Thu) 16:00-19:00**
 講師:田上誠司氏(FieldUp 代表) **Seiji Tagami (President, FieldUp)**
 島岡未来子氏(早稲田大学 准教授) **Mikiko Shimaoka (Associate Prof. Waseda Univ.)**
 テーマ:コーチングをベースとしたコミュニケーション向上
Communication skill up based on coaching

役立つ場面:チーム医療、問診、職場環境など
Helpful scene: Team care, interview, work environment, etc.

プログラムコンテンツ: **Program Contents:**
 ・コーチングとは? **What is coaching?**
 ・双方向のコミュニケーション **Interactive communication**
 ・相手の考えを引き出す効果的な質問
Effective question to bring out the thoughts
 ・コミュニケーションタイプに合わせた個別対応
Individual correspondence to a communication type

15

3. EDGE-NEXTビジネスワークショップ EDGE-NEXT Business Workshop

本学で㈱リバネスが実施する研修 **Leave a Nest Co., Ltd. will carry out @SUMS.**
 人数:20名程度(最大で30名) **Participants : 20 students (Max : 30)**
 日時: **11月から12月の火曜日16:00-19:00** **Nov. ~ Dec. (Tue) 16:00-19:00**
 (5回) **(5 times)**

講師:磯貝里子氏(㈱リバネス) **Satoko Isogai (Leave a Nest Co., Ltd.)**

プログラムコンテンツ: **Program Contents:**
 ・社会課題を解決しうる技術シーズの発掘
Excavation of the technical seeds to solve a social problem
 ・必要なマインド・考え方とノウハウ
Necessary mind-set, Thinking way, Know-how
 ・研究者のヒアリング(実地研修)
Hearing (Interview) of the researcher (the practical training)
 ・ヒアリング結果のまとめ(書類作成)(実地研修)
Summary of the hearing result (documents making: the practical training)
 ・事業プランをまとめ上げる ⇒ 学内コンペ ⇒ 滋賀テックグランプリ
Compiling a business plan ⇒ Pitch contest at SUMS ⇒ Shiga Tech Grand Prix

16

4. 学内インターシップ Internship at SUMS

産学連携活動の実践(コーディネート活動、プロジェクトマネジメントなど)

Practice of coordination and project management in Academia-Industry collaboration

募集時期:2017年12月

Registration: By Dec. 2017

活動時期:2018年1月~2018年2月

Internship period: Jan. ~ Feb. 2018

対象者:SUMS EDGE-NEXTプログラムを受講し、一連の事業化プロセス等を学んだ者

Subject: Person who learned business development process via SUMS EDGE-NEXT.

内 容: Contents:

1. 研究シーズ、医療ニーズの発掘 Excavation of the technical seeds and medical needs
2. 自身の研究テーマあるいは学内他者のプロジェクトマネジメント
Project management of own research project or other technical seeds
3. 研究シーズ集の作成、医療ニーズ集の作成
Making presentation materials on the technical seeds and medical needs
4. 研究シーズ、医療ニーズと企業とのマッチング
Matching of the technical seeds and medical needs with companies

報酬等:

一定条件*を満たせば、アルバイト料支給

Part-time job salary will be paid under certain conditions*.

: 成果物の作成、プレゼン: Making outcomes, Presentation

17

5. SUMSコンペ Campus Idea Competition

趣旨:受講生によるビジネスにつながるアイデア(医療系)を、**SUMS EDGE-NEXT** **ビジネスワークショップ**あるいは**iKODEイノベーションワークショップ**でブラッシュアップし、大学主催でピッチコンテストを実施することで、アイデアから実用化までのプロセスに関する学びを補強し、他者に分かりやすく説明できる能力を養う。

Purpose: Students equip for the ability that they can explain to the others and learn about processes from an idea to practical use, through the pitch contest after they completed **SUMS EDGE-NEXT business or iKODE innovation workshop.**

対象者: SUMS EDGE-NEXTビジネスあるいはiKODEイノベーションワークショップを受講した者

Applicant: Person who completed SUMS EDGE-NEXT business or iKODE innovation workshop

賞金等:優勝者**試作費相当費用30万円**、準優勝**同20万円**、3位**同10万円**

Prize: Gold ¥300,000, Silver ¥200,000, Bronze ¥100,000 for prototyping

★受賞者(チーム)は、次年度滋賀テックプラントー等にエントリーしなければならない。

★Winner (Team) should make an entry for the Shiga Tech Grand Prix of the next year.

18

1. イノベーションワークショップ [Innovation Workshop](#)

医療系の製品やアイデアを募集し、実用化できる(ビジネス)アイデアとしてブラッシュアップするためのワークショップを継続実施する。(5回程度)

成果は、**SUMS EDGE-NEXT**のSUMSアイデアコンペで発表する。

講師: 祇園景子先生

2. 医療機器開発セミナー [Medical Device Development Seminar](#)

2月に1度の頻度で、滋賀県産業支援プラザと協働で継続実施する。

毎回のテーマに関心のある「しが医工連携ものづくりネットワーク」参画企業に参加してもらい、各診療科等の現状と課題、ニーズをプレゼンする。15社程度の少人数で対面的なセミナーを開催する。

3. 座学 [Lecture](#)

- 1) 11月2日 神戸大学・坂井貴行先生 「研究シーズと外部資金獲得」
- 2) 11月 6日 知的財産セミナー(大学院生向け) 日本弁理士会講師
- 3) 11月13日 iKODE大学院選択科目「医療イノベーション」 松浦昌宏
- 4) 12月15日 知的財産セミナー(学部生向け) 日本弁理士会講師
- 5) 日程未定 医師で起業家の講師(例: 山本雄士先生)を招聘し、実施予定

19

他大学との連携プログラム Program in collaboration with other Univ.



HiDEP

Healthcare Innovation Design Entrepreneurship Program

医療ヘルスケア・イノベーション起業家人材育成プログラム



神戸大学医学部附属病院
国産医療機器創出促進基盤整備等事業



人材育成コース

「医療機器開発エキスパート」育成研修エントリーコース

日本医療研究開発機構 国産医療機器創出促進基盤整備等事業
「医療機器開発エキスパート」育成研修エントリーコース募集要項

20

医療ヘルスケア・イノベーション高度専門人材育成プログラム

コンセプト

臨床現場ニーズ × 大学・企業技術シーズ → 医療ヘルスケア・イノベーション

目的

- 起業、新事業(企業派遣の場合)の基になる、**新規医療ヘルスケア機器・サービス(創業以外)の創出**
- 医療ヘルスケア領域(創業以外)における**高度専門人材の育成(新事業創出スキル、研究経営マインドの習得)**
- 持続可能な臨床現場起点の**医療イノベーション創出エコシステムの構築**

2018年度HiDEP(予定)

期間	2018年4月～9月
場所	京都大学大学院医学研究科、京都大学医学部附属病院、武田総合病院、高齢者福祉施設、(株)HILLTOP、(滋賀医科大学)
参加人数	20名程度まで
対象	大学院生(医学系、工学系、経営系など)、研究者(医学系、工学系、経営系など)、病院(医師、コ・メディカル)、企業(医療機器、金融など)
担当部門	京都大学大学院医学研究科、京都大学医学部附属病院、経営管理大学院
協力者 所属機関	日本医療研究開発機構(AMED)、早稲田大学、北海道大学、滋賀医科大学 ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)、(株)日本医療機器開発機構、武田総合病院、 (財)京都高度技術研究所(ASTEM)、京都イノベーションキャピタル(株)



神戸大学「医療機器開発エキスパート」育成研修エントリーコース



神戸大学医学部附属病院 国産医療機器創出促進基盤整備等事業

HOME 実施体制 人材育成コース セミナー・フォーラム お問い合わせ・相談申込 アクセス

人材育成コース

「医療機器開発エキスパート」育成研修エントリーコース

日本医療研究開発機構 国産医療機器創出促進基盤整備等事業

「医療機器開発エキスパート」育成研修エントリーコース募集要項

「医療機器開発エキスパート」育成研修エントリーコースは、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED) 国産医療機器創出促進基盤整備等事業において、将来的に医療現場で医療関係者(医師、コメディカルスタッフ、研究開発支援スタッフ)と緊密に連携して医療機器を共創できる人材の育成を目指すものです。本コースはエントリーコースとして位置づけしており、研修終了後にさらに神戸大学の医療現場で医療機器開発の実践経験を積むことで、「医療機器開発エキスパート」としての人材育成が完了することを目標としています。

- 実施期間：2017年11月～2018年10月
- 募集人数：8名程度(1社で複数名でも構いません)
- 参加費：無料

詳細：<http://www.med.kobe-u.ac.jp/kikiso/program.html>

★参考Webサイト情報 Reference websites

文部科学省EDGEプログラムサイト

[EDGE-NEXT and EDGE program at MEXT](#)

http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/edge/1346947.htm

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/07/1387770.htm

<http://edgeprogram.jp/?locale=en>

科学技術振興機構 EDGEプログラムサイト

[EDGE-NEXT program at Japan Science and Technology Agency](#)

<http://www.jst.go.jp/shincho/program/edge-next.html> (Japanese only)

EDGEプログラム本学紹介サイト

[EDGE program at SUMS](#)

<http://ikode-sums.com/>

<http://ikode-sums.com/en/>

早稲田大学コンソーシアム

[Waseda Univ. Consortium](#)

<https://www.waseda.jp/top/news/52511>

<https://www.waseda.jp/top/en-news/53126>

★連絡先 Contact

研究戦略推進室 産学連携推進部門 松浦昌宏、松浦孝範

Drs. Masahiro Matsuura or Takanori Matsuura

(Research Strategy Promotion Office)

内線(Ext): 2936

E-mail: ikode@belle.shiga-med.ac.jp

セミナーやワークショップの場所 / Room for iKODE

バイオメディカル・イノベーションセンター Biomedical Innovation Center

